

メタンジオハザード シンポジウム 2025

-首都直下型地震におけるメタンガス火災に備えて-

■主催：日本地震予知学会、レジリエンス協会、日本危機管理学会、
減災サステナブル技術協会、産業技術研究所コンソーシアム・
安心安全電磁環境研究会

■日時：2025年10月5日（日）13:00～17:00

■リアル会場：東京ビッグサイト会議棟6階（607+608）

■一般公開（定員120名）、参加費無料

■交通：ゆりかもめ[新橋]⇒（22分）[東京ビッグサイト]下車



1) 開会挨拶 13:10～13:15 服部 克己

（千葉大学副学長・千葉大学大学院理学研究院地球科学研究部門教授）

2) 特別講演 13:15～14:15 榎本 祐嗣（信州大学名誉教授・リサーチコーディネータ）

「メタン・ジオハザードの実相 -[地震シャンパン効果]・[地震火災]・[首都防災]-」

3) 講演-1 14:20～14:40 長尾 年恭（東海大学&静岡県立大学客員教授・

日本地震予知学会会長）

「地震予知研究の最新動向 -巨大地震に先行する直前の異常の発見-」

4) 講演-2 14:45～15:05 鍛冶 良作 産業技術総合研究所コンソーシアム

安心安全電磁環境研究会 会長）

「能登半島地震で観測されたメタン濃度上昇について」

-休憩5分-

5) 講演-3 15:15～15:35 増田 幸宏（日本危機管理学会会長・芝浦工業大学教授）

「社会ニーズに応える危機管理学 -分野横断的アプローチの挑戦」

6) 講演-4 15:40～16:00 荒木 道雄（レジリエンス協会理事）

「サステナブル評価指標（日本版）の策定について」

7) 講演-5 16:05～16:25 古屋 泰文（東北大学学術研究員・弘前大学名誉教授・

減災サステナブル技術協会代表理事）

「首都直下ガスハザードに備えるIoT×MEMS 防災技術とパーソナルインフラ空間」

8) パネルディスカッション 16:30～16:50 「首都直下地震におけるメタンガス火災に備えて」

榎本祐嗣・長尾年恭・服部克己・増田幸宏・戸丸 仁・鍛冶良作・浅沼 博・古屋泰文・

岸本 哲・荒木道雄

9) 閉会挨拶 16:55～17:00 戸丸 仁（千葉大学大学院 理学研究院地球科学研究部門教授）